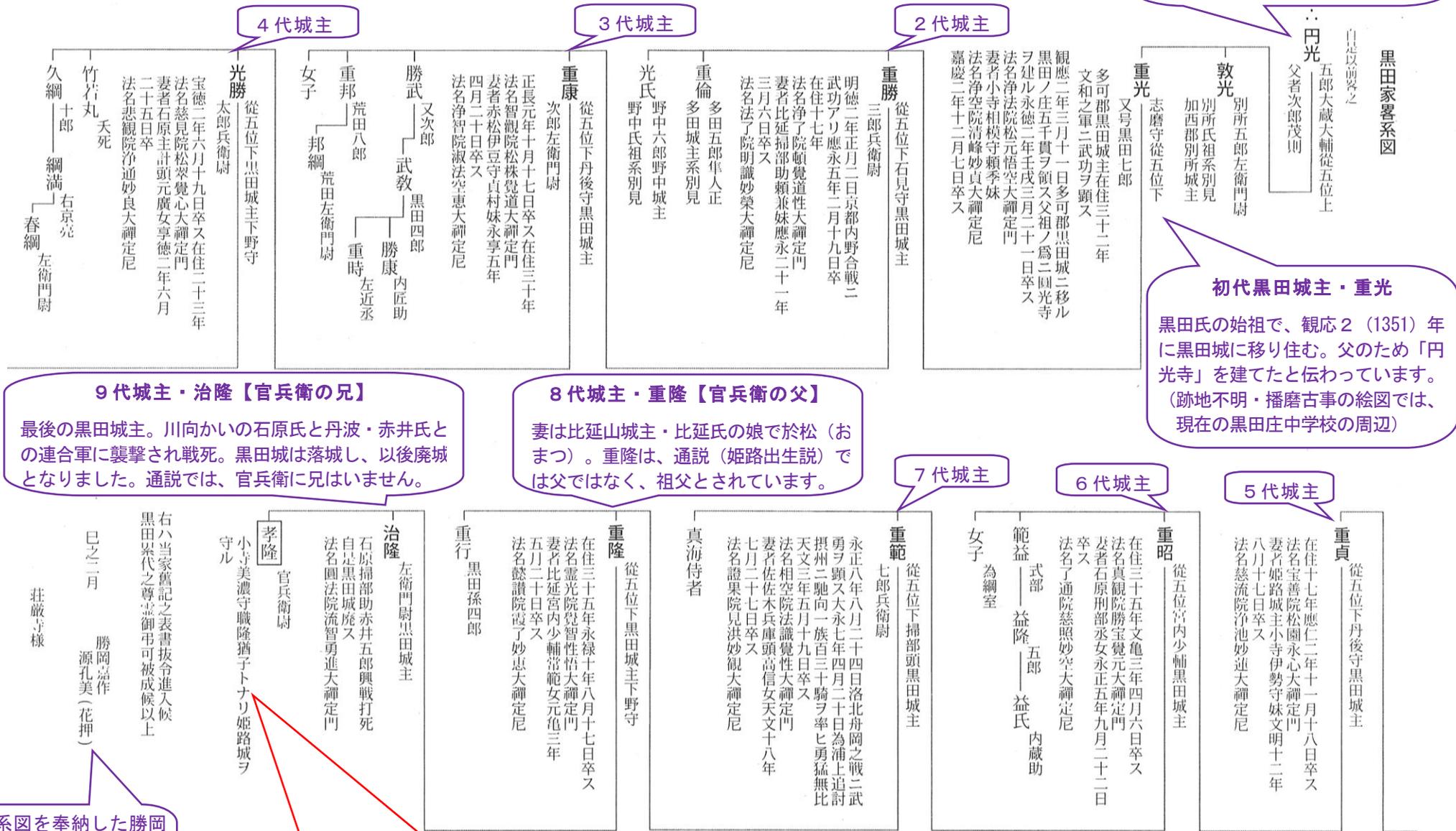


# 「莊嚴寺本黒田家略系図」

文化6（1809）年ごろに西脇市黒田庄町黒田にある莊嚴寺に奉納された系図です。

**赤松円光**  
鎌倉時代末期から室町時代に播磨守護として活躍した赤松氏。足利尊氏にも協力した赤松円心（則村）の弟です。



**9代城主・治隆【官兵衛の兄】**  
最後の黒田城主。川向かいの石原氏と丹波・赤井氏との連合軍に襲撃され戦死。黒田城は落城し、以後廃城となりました。通説では、官兵衛に兄はいません。

**8代城主・重隆【官兵衛の父】**  
妻は比延山城主・比延氏の娘で於松（おまつ）。重隆は、通説（姫路出生説）では父ではなく、祖父とされています。

家系図を奉納した勝岡氏は、黒田氏と代々婚姻関係があった比延氏の末裔の一族です。

**孝隆【後の官兵衛】**  
8代城主・重隆の二男。御着城主・小寺美濃守職隆の養子となり、姫路城を守った、と記されています。職隆は、通説では父親ですが、この家系図では養父となっています。